

合田大使の「灌漑用水路の運用及び維持のための機材整備計画」供与式出席

8月20日、合田秀樹駐キルギス日本大使は、令和5年度対キルギス無償資金協力「灌漑用水路の運用及び維持のための機材整備計画」において供与される灌漑用機材の引渡し式に出席しました。同式典には、キルギス側より、トロバエフ内閣副議長兼水資源・農業・加工産業大臣、マサビロフ共和国議会議員（キルギス日本友好議連会長）ほか、日本側より西形康太郎 JICA キルギス事務所所長ほかが参加しました。

トロバエフ大臣は、本計画により供与される機材が、キルギス国内の灌漑効率を上げ、農業の発展につながる旨を強調しました。

本計画の交換公文は、2023年11月にジャパロフ大統領が日本への公式訪問を行った際、バケタエフ財務大臣と上川外務大臣（当時）との間で署名・交換されました。本計画は、日本政府からの10億8700万円（約8百万ドル）の拠出を受けて実施されています。

合田大使は、本計画がキルギスの灌漑システムの近代化に貢献し、灌漑農地の増加、農産物の量の増加と質の向上に寄与することを祈念している旨発言しました。

